

福德学院インターアクトクラブの活動

以前、例会にロータリークラブの方々が来てくださった際、世界の国々についてお話ししてくださいました。その中で、靴を買うお金が無く、裸足でゴミの山を歩き回っている子どもたちがいるという話をうかがいました。その子たちが釘やガラスの破片等でケガをしてしまい、治療するお金がないので重症化してしまうという悲しい現実があることを知りました。

本校の体育の授業では指定のグラウンドシューズと体育館シューズを使用していますが、卒業後は使わない人がほとんどです。他国には靴を必要としている人がいるのに、それではもったいないと思い、卒業式後にシューズを回収・洗浄し、靴を必要としている国に送ることにしました。

インターネットで、送り先(受け入れ先)を探していたところ、「カンボジアのアンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構」JST「<http://www.jst-cambodia.net/>」の担当者と連絡を取ることが出来まして、93足の体育館シューズを5月21日船便にて発送いたしました。

カンボジアの子供達が元気に走り回る姿が思い浮かびます。

これからも続けていこうと思っています。

大分南ロータリークラブ 安部 道弘

